

三村先生との思い出

峯 恭子

(大阪大谷大学)

Precious Time with Prof. Mimura

Kyoko MINE

三村先生、ご退官おめでとうございます。三村先生との出会いは、私が佐賀大学の3回生の頃でした。当時、優しくな先生だというのが第一印象でしたが、それから先生にご指導いただいた佐賀大学での3年間のなかで、いつも我々のことを大切に育ててくださる先生をいつしか“第2の母”のように感じていた日々でした。それを表すかのように、当時の写真を振り返るといつも先生の隣で笑っている私がいま。そして、三村先生との出会いは、その後の私の人生を大きく変えるものとなりました。佐賀大学大学院に進学し修士課程修了後、一旦は音楽関係の職に就職した私ですが、音楽を通して学問に向かうことの楽しみや喜びを感じ、社会人1年目にして一念発起、研究者を目指すことにしたのです。それまでピアノばかり弾いていた私がなぜ研究者の道だったのか、それは紛れもなく三村先生との出会いがきっかけでした。そして、佐賀大学時代に指導教官だった古賀雅子先生から「三村先生のもとで学問に励みなさい！」とアドバイスを頂き、三村先生を追いかけるかたちで広島大学（博士課程後期）での研究者への第一歩が始まったのです。

さて、広島大学に入学し希望に満ち溢れた日々を期待を膨らませていたのも束の間、論文の書き方もろくに分かっていなかった私は本当に手のかかる学生で、三村先生にも大変なご心配とご迷惑をおかけした日々でした。それでも、「きょんちゃんなら大丈夫！できる！」といつも信じて励ましてくださった先生には感謝の気持ちでいっぱいです。広島大学では学会発表と論文執筆に追われる日々でしたが、そんななかでも阿蘇セミナーや海レクなど、先生との楽しく温かい思い出も沢山あります。我が子のように可愛がり育ててくださる先生のもとですくすくと育った私は、いくつになっても自身の成長を見て欲しい、見守っていてほしいと今でも感じてしまいます（出会った頃は20歳だった私もいつの間にかアラフォーになってしまいましたが・・・）。これまで本当にありがとうございました。ご退官後は、またゆっくり温泉につかりながらお話ができる日が来るとよいなと密かに願っております。

最後になりますが、三村先生の今後のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。



写真1 PECERAにて記念撮影



写真2 植物園での1コマ